

2尺9寸8分まで浸水するに至れり。尙流量の一部は京元鐵道線路及防水堤を越へ鐵道官舎及新龍山の一部分に氾濫溢流したり。今後防水堤を增高せしめて氾濫を防止し全流量をして該橋梁下を流下せしむる計劃を以て本橋及避溢橋間の築堤全部を橋梁（徑間60呎2連徑間80呎9連此延長川下9百34呎86川上9百24呎81とし尙本橋に在りては3呎、避溢橋に在りては3呎91づゝ桁を上昇し通水を充分ならしむるこゝせり。

現在橋梁の延長

川下(本橋 避溢橋を合せ)	2709呎33
川上(同 上)	2728呎50

改良後

川下	3644呎19
川上	3653呎31
参考 鴨綠江鐵道橋延長	3097呎88

橋桁の重量 (川下及川上共)

現在	3638英噸84
改良後	5222英噸40

工事の狀況

(2) 漢江鐵道橋下流側の200呎構桁上昇工事竣工の狀景

大正15年9月7日工事に着手し晝夜施工昭和3年6月30日竣工の見込目下全工事の約六割五分竣工せり。

増設の橋脚の基礎は鐵筋混凝土の井筒工により深さ43呎内外にて岩盤に達せり、橋脚は高さ33呎にして混凝土にて施行せり。桁はLドワーフ型鉄桁を用ふ。本橋はSchweder型の構桁を其儘上昇し橋脚上部を混凝土を以て繼足せり。避溢橋は従来の鉄桁を取外し橋脚上部を混凝土を以て繼足し、Lドワーフ型鉄桁を用ふ。

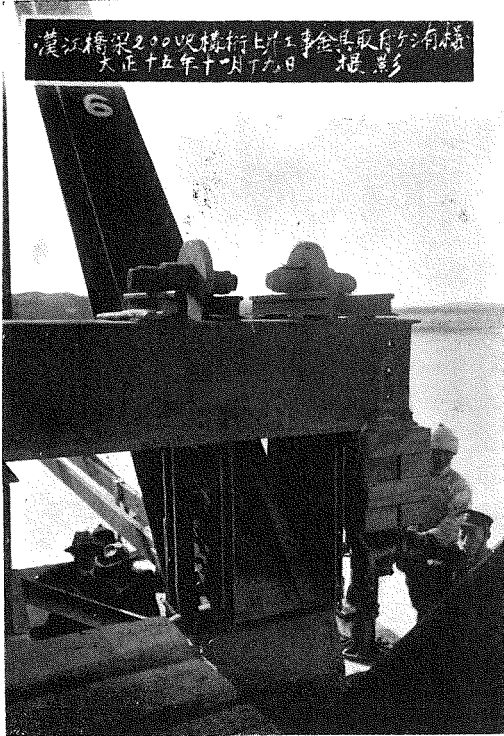
工事の費額

工費 約125萬圓にして内譯左記

種 別	工 事 費
漢江橋梁改築及附帶工事	901000圓
鷺梁津停車場基面上昇 其 他 工 事	175000圓
同上 本屋移轉其他工事	19000圓
電線路移設其他工事	6000圓
軌道移設其他工事	64000圓
運送費其他	85000圓
合 計	125000圓

(2) View of Lower Kanko Railway Bridge, When Improvement Works were Completed.





(3) Under Way of Raising the Truss with 10-100 Ton Jacks.

(3) 漢江鐵道橋 200 呎構桁上昇工事中

構桁の一端に釣揚げ用の装置として四枚の鐵板を取付け、其二枚宛の間に吉きアイバーを取付け、アイバーの上部はピンにて短き軌條片と大なるアイビームの上にある。

此のアイビームの兩端にジャツキを入れて上に押し上げるものである。

寫眞に於て二ヶの圓形車輪の如く見ゆるはアイバーの上端で、其下に大なるアイビームの端にバツキンを咬ましてジャツキを使用しつゝある處。

本工事に使用したジャツキは 100 噸 10 臺で 2 臺はボールベアリング式、8 臺はハイドロリック式である。

尙ほ工法の詳細は第五圖の寫眞参照され度い。

(4) Placing Concrete Blocks after Raising the Truss with Jacks.

(4) 漢江鐵道橋 200 呎構桁上昇工事中

構桁ジャツキにて押し上げて混凝土ブロックを挿入したる處を側面より見たる處で、前記 3 圖の如くして桁を上昇すると、別に混凝土ブロックを挿入する丈の準備が出来てゐるので、押揚げた桁と橋脚との間へブロックを挿入するのである。

此の混凝土ブロックは第五圖の詳細圖に示す様に桁の下に釣揚げて橋脚の上迄運び込む完全な装置が出来てゐる。

漢江の此の工事は朝鮮鐵道局京城工務事務所の所管で漢江工事係の藤川技師が擔當してをる、工事請負は鹿島組である。

